

ポスター発表実践例

「わかってできる」個別学習の取り組み

山梨大学教育学部附属特別支援学校

△学部 ○○ ○○

タイトルを明確に記載してください
(テーマは自由です)

所属と氏名を
必ず記載してください

学習目標

○具体物の操作を通して、色、形、位置、方向、大きさ

課題の

○児童が教材と関与した中で何を学び、何を身につけることができるよ

サイズは、模造紙2枚程度です。

縦置きのパターションボード（横120cm×縦180cm）に、
公開研究会前日16:00、もしくは当日に貼ります。

ビーズ分け



○内容
・部屋が小分けになっているケースに、形、色別にビーズを入れていくもの
○興味・関心
・色数を数える
・本人が好きな色を選ぶ
○学習の成果
・あらかじめ決めた順番でビーズを分ける
・始めは難しいが、慣れてくるとスムーズにできるようになる

箸つかみ



○内容
・ピンセットや箸を使って、色別にビーズを分ける
○興味・関心
・明るい色と暗い色の区別
○学習の成果
・ケースの順番でビーズを分ける
・次第に色を区別できるようになる
・ボールが入っているケースも、机に置いたままから、利き手ではない方の手で持って取り出す様子も見られるようになった。

「内容について」

- ・学校で行っている日々の実践事例や研究
- ・教材の紹介（説明）
- ・授業の報告
- ・分掌での取り組み
- ・個人や団体での研究等

が例年出されています。

「レイアウトについて」

- ・写真や絵・図等の使用の有無は、自由です。

* 個人情報の取り扱いの配慮をお願いします

洗濯ばさみとし

○内容
・色の異なる洗濯ばさみと、円状の色画用紙のふちに線を書いた台紙を用いて

第34回公開研究会で「ポスター発表」を行うことで、発表者と参加者が直に意見や情報を交わし、日々の悩みの解決や新たな支援方法の模索など、特別支援教育の発展に繋がりたいと考えます。是非、日頃の実践や研究の成果について発表していただき、参会者の皆様と共に充実した時間を過ごせればと考えています。

ご協力いただける方は、2次案内に記載されているFAXまたは研究主任宛のメールアドレスに、お申し込みください。

詳細につきましては、お申し込みの受付後、順次お知らせさせていただきます。

山梨大学教育学部附属特別支援学校 研究主任 青木 雄一

成果と課題

○今回の実践では「集中が持続できるように見通しが持ちやすい」「手指の巧緻性を高めることにつながる」「児童の興味・関心が持ちやすい」ことなどに配慮して課題を設定した結果、児童は集中して取り組むことができた。引き続き、実態把握を行い、適切な目標や課題を設定していくことで、児童の力を伸ばしていきたい。